



《学校教育目標》豊かな心を持ち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

伝えることの大切さを実感 ～学習発表会～ 【令和4年12月3日・12日】

12月3日の当日が近づくにつれ、体調不良の児童が増えてきて、正直、「これはまずい…」と思わずつぶやいてしまった今年の11月下旬。やむなく、分散開催という手段を選ばせていただきました。

事前の準備からの変更が多々あったところですが、子供たちは緊張感をもちつつも、慌てることなく対応していました。ちょっとした言動を見聞きしていても、成長を感じずにはいられませんでした。

さて、各学年の詳細は、学級だよりで紹介されているところですが、私が感じたのは次の2点です。

まず、これまでの学びを総合的に関連させ、深い学びの様子を発表できたことに驚きました。オリジナリティがある発表は、台本の良し悪しに左右されがちです。今回は、多くの学年で台本にも創意工夫が見られたことは素晴らしいかったです。もう一つは、堂々とアウトプットしている子供たちの姿に感動しました。人前で何かをするということはややもすると躊躇しがちですが、今できる最大限の力を発揮しようとする姿は、見るものに感動を与えました。分散開催により、保護者の参観に制限をもたせてしまったこと、申し訳なく思います。何らかの形で、保護者の方々が視聴できるよう準備しています。ご参観、本当にありがとうございました。



3年生



1年生



5年生



2年生



4年生



6年生

「子育てアラカルト⑮ ～長所と短所～」

過日、昔の通知表（大昔は「あゆみ」という名称はありませんでした）を久々に見つけ、懐かしく思い開いてみましたが、よく読んでみると、当時の担任の先生方から所見欄に様々なメッセージをいただいていた。「リーダー性がある」「みんなを明るくするユーモアがある」などはうれしい記載ですが、「授業中私語が多い」「積極性が足りない」「まわりに引きずられる」等の記載もあり、改めて自分が、いわゆる優等生ではなかったことを実感しているところです。これらのことは短所といえば短所ですが、もっとポジティブに考えれば、次のように変換できるのかもしれません。

「授業中私語が多い」 → 「自分から話したいことがたくさんあって発信力がある」

「積極性が足りない」 → 「何事にも慎重で、よく考えてから行動する力が備わっている」

「まわりに引きずられる」 → 「周りの友達のことを大切にして、まずは一緒に行動しようとする」

ちょっと都合のよい解釈かもしれませんが、子供たちのすることにはすべて意味があって、その言動の本質を考えて、適切なサポートをするのが大人の役目ではないかと考えます。そもそも長所と短所は、紙一重であるのとらえと、私がいただいた所見欄のメッセージは貴重な宝物であると納得できます。

大井町環境展に協力しました 【令和4年11月23日】

今年は久しぶりに町の環境展が開催されました。あいにく雨の一日でしたが、参加可となった本校の児童は、エコ再生紙振興会の「書道紙リサイクルプロジェクト」のブースに協力し、参観者の方々と触れ合う機会を得ました。協力してくれた児童のみなさん、ありがとうございました。また、当日の参加が難しかった児童のみなさんも、できうる協力をしてくれてありがとうございました。

さて、学習発表会で4年生が伝えてくれたSDGsについて、学校は児童と教職員が理念を共通理解していく必要があると考えています。改めてSDGsの17の目標を再認識し、教育課程の中に、可能な限り取り入れていけるよう検討してみます。



1・2年生 コキアほうきづくり 【令和4年12月13日】

地域(相和小は町全体が学区なので大井町全域)の方からの持ち込み企画で、1・2年生がコキアほうきづくりに挑戦しました。

当日はあいにくの雨でしたが、1・2年生は、根気がある作業を見事にやり切り、すてきなほうきを作り上げることができました。

ほうきは、自宅に持ち帰るようにしましたが、年末の大掃除で使って、家族の一員として活躍してくれたらうれしく思います。



コキア(フリー素材集から引用)



家庭学習ノート交流会 ～よりよい学び方を知る～

家庭との連携のもと、本校では家庭学習の充実に力を入れています。各学年の発達段階に応じて取組内容は様々ですが、どうしても続けていくとなるとマンネリになりがちです。

そこで、11月から数回にわたり、学年をまたいだ交流会を実施し、頑張っている点や努力している点を低中高別に分かれ、情報交換をしました。私が見る限り、かなり効果的であったと感じます。

漢字を書き続けたり計算を解き続けることもよいですが、学校で学んだことを広げたり深めりすることができれば、すばらしいと思います。

工夫の余地は、まだまだあります。



低学年の様子



高学年の様子

おい自然園展示会の見学 ～2年生が学んできました～

自然に興味をもつ子が多い2年生は、さらに多くのことを学びたくて、おい自然園展示会の見学に行ってきました。この展示会は、10年ほどの歴史があり、自然園事業そのものは大井町のあらゆる自然をテーマに、町民参加型で進められています。

一寸木園長先生は、大井町の小学校に長年勤務され、カニを専門に造詣豊かな方で、子供たちも多くの刺激を受けてきました。

本校は、自然豊かな環境を有することも大きな自慢です。今後は、おい自然園事業とのコラボによる



一寸木園長さんからたくさんことを学びました

る学びも検討していきたいと思っています。



サッカーワールドカップから感じたこと

4年に一度開催されるワールドカップも、3位決定戦と決勝のみを残すところとなりました。各大陸等の予選を勝ち抜いた32カ国には、それぞれの歴史と伝統、文化があり、それらが交じり合う大きな祭典です。日本代表の活躍もあり、この大会も非常にわくわくしたものとなりました。

さて、今大会はカタールのドーハが会場ということもあり、1993年のいわゆる「ドーハの悲劇」が数多く取り上げられました。ワールドカップに出場できないでいた日本代表が「いよいよ」というところで夢破れたエピソードのことです。以降、自国開催も含め7大会連続出場となったわけですが、このこと自体、当たり前ではなく偉業といえます。今回気になったのは、勝ったり負けたりしたなかで、応援する国民が手のひら返しで対応を変えたことです。一喜一憂は悪いことではないのかもしれませんが、あまりにもポリシーがないのでは？この大会に出場する本当の価値とは何なのかを、改めて考えてみたくなりました。